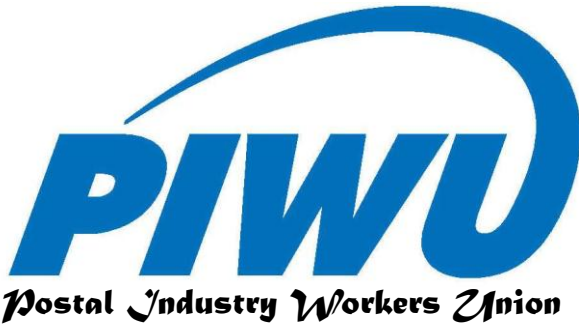


1011号

2025年8月19日

郵政産業労働者ユニオン
呉支部発行

←中国地本HPへ
PC・スマホ等から
この情報が閲覧可！

メールはこちら→



2026年3月期 第1四半期の経営成績

(億円)

	日本郵政グループ	日本郵便	ゆうちょ銀行	かんぽ生命
経常収益	28,102	8,978	6,672	14,341
前年同期比	743 +2.7%	+656 +7.9%	+615 +10.1%	△313 △2.1%
経常利益	2,251	84	1,538	674
前年同期比	+137 +6.5%	+244 (-)	+161 +11.7%	△7 △1.0%
四半期純損益	677	24	1,048	346
前年同期比	△70 △9.4%	+207 (-)	+86 +8.9%	+137 +65.4%

非支配株主持分を含む四半期純利益は、1,465億円と前年同期比206億円増

2026年3月期 通期業績予想

経常利益	10,200	530	6,800	2,400
1Q進捗率	22.1%	15.9%	-2.6%	8.1%
当期純利益	3,800	460	4,700	1,360
1Q進捗率	17.8%	5.3%	22.3%	25.5%

郵政G全社黒字確保

決算の概要

8月8日、2026年3月期第1四半期の決算が発表された。
郵政G全社、黒字を確保した。

郵便・物流事業

取扱数量は4.5%の減少。郵便は5.7%減、ゆうメールが2.6%減少した。ゆうパックが2.2%増

郵便局窓口事業

保険・銀行手数料等の減少が続く、営業収益は前期比16億円減の2,546億円。

国際物流事業

営業費用は、前期比60億円増の2,484億円。営業利益は前期比76億円減の62億円。

不動産事業

営業収益が前期比5億円減の4億円。減収減益となった。

日本郵便

営業収益が前期比263億円増の115億円。

営業収益が前期比641億円増加し、営業費用も378億円増加した。四半期純損益は24億円と前期207億円増と黒字に転換した。

ゆうちょ銀行

連結業務純益は、前期比586円減の222億円。四半期純利益は前期比86億円増の1,048億円。資金利益が前年同期比298億円減の2,287億円。

かんぽ生命

基礎利益は前期比485億円増の920億円。四半期純利益は346億円と前年比137億円増。

保有契約件数は減少したが、横ばいに近くなっており、改善の兆しは続いている。新契約年換算保険料も徐々に増加しているが、保有契約の満期等による消滅の方が多いのが、現状となっている。

今後の予定

- 8月19日(火) 17:00～
第12回呉支部執行委員会
支部事務所

次号は 9月 2日 予定

点呼問題について

国土交通省から、一般貨物自動車運送業の許可取消処分を6月25日に受けた日本郵便株式会社。職場では、点呼に関する方法が何度も変わり現場は困惑している。例えば、軽自動車に乗る社員は出勤時間を30分早めて点呼を実施している。それに対応する為、内務社員の早出勤や早番の業務負担が増え、不満の声が出ている状況だ。本社の改善策で、朝礼前に点呼を実施する指示が原因だが、朝礼の前後問題ではなく、確実に点呼を実施する事が必要な事だ。点呼を最初にすれば、社員が一斉に並び、無駄な待ち時間が長くなるだけだが、本社にとっては、一番がいいのだろう。